

ヒートオフペイブ (遮熱性舗装) ホスイペイブ (保水性舗装)

(ホスイペイブ)



(2019年10月NETIS掲載終了)



都市部では、人口排熱の増大や緑の減少などによる熱環境の悪化に伴い「ヒートアイランド現象」が問題になっています。
遮熱性舗装「ヒートオフペイブ」、保水性舗装「ホスイペイブ」は照返しや気温の上昇を低減し、環境の改善につながるため、都市問題である「ヒートアイランド」対策として注目されている舗装です。



MAEDA

前田道路株式会社

本店 〒141-8665 東京都品川区大崎 1-11-3 TEL:03-5487-0011

[HP] <https://ssl.maedaroad.co.jp/> 事業所一覧▶



ヒートアイランド対策工法

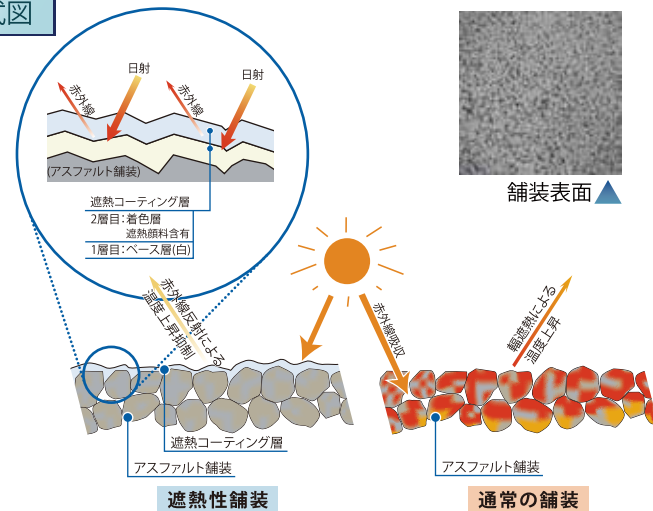
ヒートオフペイブ(遮熱性舗装)

“太陽光を反射”して路面温度の上昇を防ぐ！

1. 概要

遮熱性舗装「ヒートオフペイブ」は、アスファルト舗装の表面に遮熱コーティング材を塗布したもので、路面温度と舗装内部に蓄積される熱量を抑えることができるため、「ヒートアイランド現象」対策として注目されている舗装です。

模式図



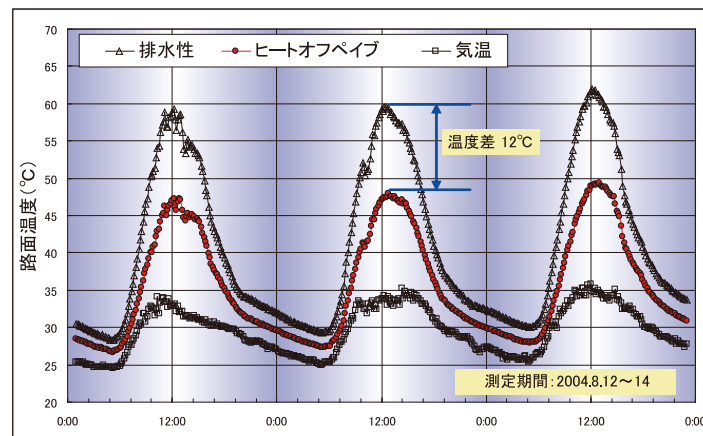
ヒートオフペイブとは、可視光線を吸収し赤外線を反射させる特殊顔料と、ポリウレタ樹脂等を混合したものからなる遮熱コーティング材料を、舗装表面に塗布することで路面温度の上昇を抑制する遮熱性舗装です。

施工時の臭気がほとんど発生しません。



施工状況▲

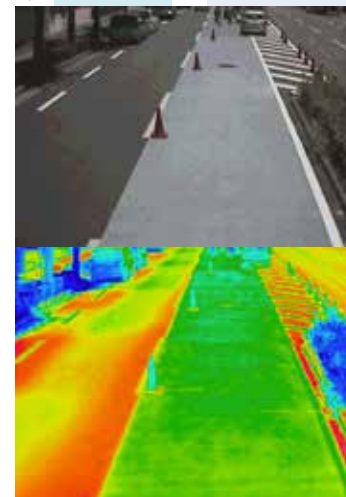
2. 効果



熱伝対埋設箇所



可視画像



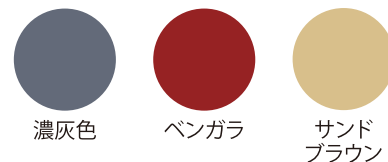
赤外線画像▲



施工事例▲

3. 色見本

超低臭型



※ベンガラとサンドブラウンは受注生産品です。最小製造量は施工面積7,000㎡以上です。

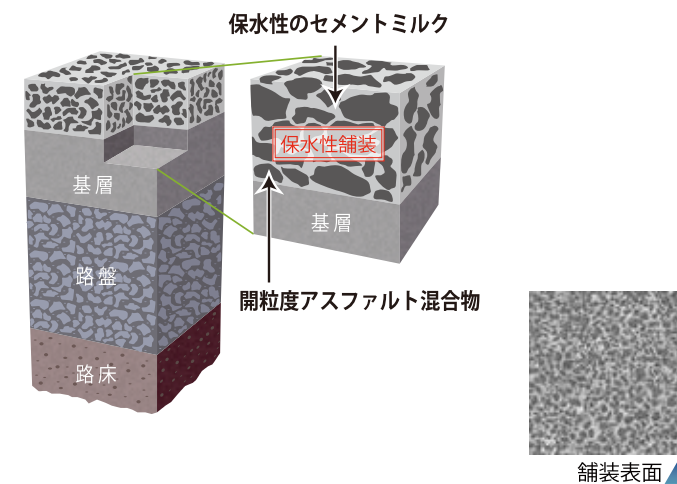
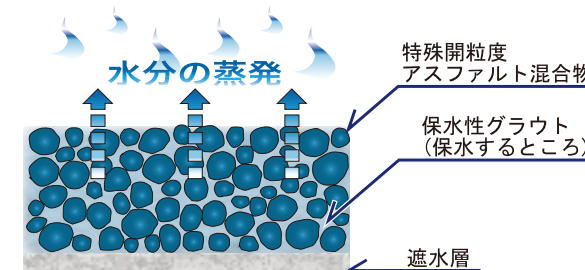
ホスイペイブ(保水性舗装)

“水分の蒸発”により路面温度の上昇を防ぐ！

1. 概要

「ホスイペイブ」は、舗装路面温度の上昇抑制を目的に、特殊開粒度アスファルト混合物の空隙内部に、鉱物質系の保水材を配合した保水性グラウトを充填する工法です。

模式図



ホスイペイブは、舗装空隙に吸水性と保水性に優れた鉱物質系のグラウトを充填しているため、夏期の路面温度上昇を抑制して、ヒートアイランド現象の緩和に寄与します。

施工は一般的な施工機械を使用し、半たわみ性舗装とほぼ同様な方法で行うことができます。

母体となる特殊開粒度アスコンにポリマー改質アスファルトH型を使用することにより、耐流動性に優れた舗装となります。

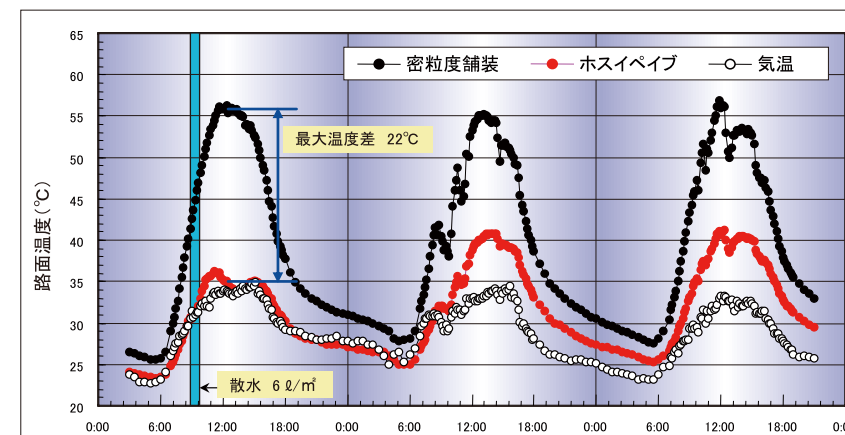


施工状況▲



高圧洗浄機による余剰グラウトの除去状況▲

2. 効果



施工事例▲